

## 令和元年度太陽とみどりの里重点事業報告

安来市より全指定管理施設の譲渡を受け、法人の自立した事業運営が求められた1年であった。介護保険事業収入は入所施設を中心には安定した。利用者の確保ができ、また見通しにくかった在宅事業も事業間での利用の不均衡がみられるが、在宅事業全体でみると前年度より収入増であった。懸案であったグループホーム建築については、建設用地の市有地の無償貸付が決定し建設の準備を進めてきた。人材確保の取り組みについては処遇改善の取り組みを進め、非常勤職員には同一労働同一賃金・手当等の改善を行った。

項目	実施計画	実施状況
(1) グループホームなごみの移転建設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設用地確保と建設設計画</li> <li>・建設時期</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月22日臨時理事会　用地の要望書の提出及び推進体制の協議。</li> <li>・1月22日臨時理事会　施設移転用地について、整備事業に係る経費及び推進体制協議。</li> <li>・3月18日通常理事会　建設事業の推進体制、建設事業の推進体制、資金計画、建設設計・監理業務の委託契約工事概要について協議。建設時期の決定については市とのスケジュール調整、確認が必要であり具体的な日時は次年度決定する。</li> </ul>
(2) 比田デイサービスセンターの運営内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用定員の見直し</li> <li>・要支援者の地域支援事業への移行検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者は前年度月平均12.7人であったが、本年度上半期平均13.4人、下半期14.3人と利用者が増加している。収支状況も改善しつつあり、現況の事業内容で継続していくこととする。</li> </ul>
(3) 介護人材確保の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員及び他の職員の新たな待遇改善</li> <li>・職員の待遇水準の再検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員待遇改善は夜勤職員を重点をおいて正規・契約・パート職員へ配分。介護職員特定待遇改善は法人での一定の勤務年数を基準に正規・契約職員に支給。</li> <li>・介護職員以外の職員は正規・契約職員に法人持ち出で改善を行う。</li> <li>・働き方改革に伴う改定は入所施設の契約職員の基本給、昇給の改定、看護師の基本給の改定。契約パート職員の扶養手当の支給、無期契約パート職員の傷病休暇の適用。</li> </ul>

## 令和元年度 事業報告書

事業所名 法人事務局

目標	事業計画	実施状況
重点目標	<p>指定管理施設(尼子苑、太陽ディ、比田ディ)の譲渡に係る諸手続き(登記、定款変更等)及び管理のための必要な諸手続きを迅速に実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部署間の統括、調整、援助を行う。</li> <li>・経営基盤の安定のため適切な財務管理、会計処理を行う。</li> <li>・人事考課制度の適切な運用と人材育成</li> </ul>	<p>4月1日付譲渡契約を締結し、4月22日定款変更、5月14日不動産登記を完了した。施設に対し4月1日火災保険に加入した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部署間の統括、調整及びグループホーム建設のため法人事務局に事業管理課を新設した。また法人運営会議を年11回開催した。</li> <li>・財務状況の正確な把握のため会計士より会計手法・会計処理の指導・助言を12回に渡り受けた。</li> <li>・人事考課を正規・契約職員に行った。これを参考に職員の昇任、昇格等を行った。また契約職員の正規職員への登用を1名行った。</li> </ul>
業務目標	<p>《役員会関係等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会・評議員会開催 年3回以上</li> <li>・監査会開催 年2回(中間決算・年度末決算)</li> <li>・内部経理監査開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会年7回開催・評議員会年4回開催した。 ※役員(理事・監事)の任期満了に向けて候補者の調整を行った。</li> <li>・監事監査を年2回(中間決算・年度末決算)受けた。</li> <li>・内部経理監査委員を選任し(評議員1名・職員1名)尼子苑の預かり金について実施した。</li> </ul>
	<p>《会計経理関係等》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・的確な経営状況の把握と内部牽制体制の確立</li> <li>・経営透明性の確保 財務諸表の開示や、定期的な広報誌発行を行い、地域に向け情報発信を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正確な月次決算に努め経営状況を把握した。また会計責任者やそれとは別の出納職員を配置し内部牽制を図っている。</li> <li>・6月28日法人ホームページにより財務諸表の開示。決算関係等は閲覧に供するため法人事務所に備えおく。広報誌を年2回発行し情報発信を行った。</li> </ul>

業務目標	《雇用関係等》 <ul style="list-style-type: none"><li>・労務管理士指導による適正な労務管理の実施</li><li>・労働法制改正等による就業規則等の見直し</li><li>・介護職員の待遇改善による給与体系の見直し</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・出垣社会保険労務士指導・助言により適正な労務管理を実施した。毎月2回指導を受けた。</li><li>・働き方改革により労働法制の一部改正があり契約職員、パート職員の就業規則・給与規程の見直しを行った。</li><li>・介護職員待遇改善、特定待遇改善を実施した。介護職員以外の職員は法人持ち出しで改善した。改善額は総額約4500万円。</li></ul>
	《福利厚生等》 <ul style="list-style-type: none"><li>・福利厚生センター事業の積極的活用の推進</li><li>・安全で健康的な職場環境を確保し、快適に働けるように努める。</li><li>・ストレスチェックの実施</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・社会福祉法人 福利厚生センター事業を活用し、永年勤続表彰等を行った。検診助成も実施した。</li><li>・職場巡回チェックを毎月実施した。インフル予防接種の半額補助。「しまね安全ドライブコンテスト」へ30チーム90名が参加した。</li><li>・ストレスチェック提出者70名。高ストレス者で産業医との面接希望者はなかった。</li></ul>
能力開発目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・適正な法人経営に向け、役員・監事等の研修への参加</li><li>・職員のスキルアップ研修</li><li>・職員を対象とした職員研修の開催</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・常勤役員の研修会出席 2名(6月、7月)</li><li>・監事の監査説明、監事研修 2名、各2回出席</li><li>・メンタルヘルス研修1名(9月) 社会福祉施設安全管理研修1名(9月)</li><li>・7月23日・8月9日開催 合計138名出席。研修内容「リスクマネージメント」「人権・同和問題」</li></ul>

# 令和元年度理事会・評議員会・監査会等に関する事項

## ○理事会に関する事項

開催日	出席数	議案等	結果
令和元年 6月4日	8名	第1号議案 定款の一部改正について 第2号議案 定款細則の一部改正について 第3号議案 組織管理規則の一部改正について 第4号議案 平成30年度事業報告及び計算書類、財産目録の承認並びに監事監査報告について 第5号議案 新役員（理事・監事）候補者の推薦について 第6号議案 内部経理監査委員の委嘱について 第7号議案 令和元年度定時評議員会の招集について	承認
令和元年 6月20日	7名	第1号議案 理事長の互選について 第2号議案 理事長の報酬額の決定について 第3号議案 令和元年度定時評議員会の追加議案について	承認
令和元年 9月18日	7名	第1号議案 紙与規程の一部改正について 第2号議案 令和元年度第1次補正予算（案）について 第3号議案 令和元年度第1回臨時評議員会の招集について	承認
令和元年 11月22日	8名	○協議事項 1) グループホームなごみ建設用地の確保について	/
令和元年 12月11日	8名	第1号議案 令和元年度第2次補正予算（案）について 第2号議案 第2回臨時評議員会の招集について	承認
令和2年 1月22日	8名	○協議事項 1) グループホームなごみ施設移転予定地について 2) グループホームなごみの整備事業に係る経費及び推進体制等について	/
令和2年 3月18日	7名	第1号議案 組織管理規則の一部改正について 第2号議案 就業規則の一部改正について 第3号議案 紙与規程の一部改正について 第4号議案 令和元年度第3次補正予算（案）について 第5号議案 固定資産取得積立金の取り崩しについて 第6号議案 令和2年度事業計画（案）、資金収支予算（案）について 第7号議案 主要人事について 第8号議案 令和元年度第3回臨時評議員会の招集について	承認

○評議員会に関する事項

開催日	出席数	議案等	結果
令和元年 6月20日	9名	第1号議案 定款の一部改正について 第2号議案 定款細則の一部改正について 第3号議案 組織管理規則の一部改正について 第4号議案 平成30年度事業報告及び計算書類、財産目録の承認並びに監事監査報告について 第5号議案 新役員（理事・監事）候補者の選任について	承認
令和元年 9月27日	10名	第1号議案 令和元年度第1次補正予算（案）について	承認
令和元年 12月19日	11名	第1号議案 令和元年度第2次補正予算（案）について	承認
令和2年 3月26日	11名	第1号議案 組織管理規則の一部改正について 第2号議案 就業規則の一部改正について 第3号議案 令和元年度第3次補正予算（案）について 第4号議案 令和2年度事業計画（案）、資金収支予算（案）について	承認

○監事監査に関する事項

開催日	出席数	議案等
令和元年 5月24日	2名	1) 平成30年度事業及び決算監査 2) 理事の業務執行状況
令和元年 11月11日	2名	1) 令和元年度上半期事業及び中間決算監査 2) 理事の業務執行状況

○内部経理監査に関する事項

開催日	出席数	議案等
令和元年 10月25日	2名	1) 尼子苑利用者の預り金等について

# 令和元年度 事業報告書

事業所名 尼子苑

目 標	事業計画	実施状況
重点目標	<p>①利用者一人ひとりの人权を尊重し個々の思いやニーズが実現できるよう支援しサービスの質の向上に繋げる。</p> <p>②職員の資質向上と専門的知識習得のため研修等に積極的に参加し資格取得に取り組む。</p> <p>③実習生やボランティア等の受け入れを積極的に行い地域交に繋げる。</p> <p>④関係機関との連携を密に行い信頼関係を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全職員を対象に人権・同和問題、リスクマネジメントについて研修を行い、高齢者や障がい者の日々のケアに生かした。また、食事・入浴・排泄・行事などケア担当検討委員会を定期的に開催しさー・バスの質の向上に努めた。</li> <li>○介護福祉士、介護支援専門員の資格取得に取り組んだ。</li> <li>○研修医(6名)や福祉専門学校の実習(4名)、職業訓練センターの実習(4名)、職場体験実習・見学(3名)など積極的に受け入れた。保育園との交流や抹茶ボランティアなど定期的に受け入れ交流に努めた。</li> <li>○老人保健施設や介護医療院、療養型医療施設、居宅介護支援事業所、養護老人ホーム等を訪問し情報交換に努めた。</li> </ul>
サービス目標	<p>①利用者個々の状況にあつた外出援助や離床を積極的に行い単調になりがちな生活に変化をつけ楽しめのある生活ができるよう努める。</p> <p>②バイキングやセレクト食・誕生食など運んで食べる機会を増やし、食べる楽しみを満喫できるよう努める。</p> <p>③利用者の健康状態の把握に努め異常の早期発見・早期治療に努め、感染症の予防及び対策を徹底する。</p> <p>④苑内行事や季節ごとの行事に利用者が全員参加できるよう努める。</p> <p>⑤事故の防止及び適切な緊急対応を行い安全に安心して生活できる快適な場の提供に努める。</p> <p>⑥苑内外の研修に積極的に参加し資格取得及び認定の取得に取り組む。また、接遇研修や階層別研修などに参加し全職員が各々の立場で役割を果たす。</p> <p>⑦協力病院や各関係機関との連携を行い信頼関係を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○半年に1回、本人・家族と面談し情報交換を行った。意向を確認しながら外に出かける機会が増えた。個別援助に繋げた。</li> <li>○毎月2回定期的にバイキングやセレクト食を実施した。特に刺身バイキングや新米おにぎりバイキングは大好評だった。また、スープバイキングでは季節感のある桜餅やフルーツポンチを喜ばれた。中華メニューの実演や鯛の解体ショーによる刺身・あら炊きはとても喜ばれ次回を楽しみにされた。毎月、誕生者のリクエストによりお祝い膳として昼食に松花堂弁当を提供した。毎月誕生者の希望をメニューに取り入れ提供できた。</li> <li>○利用者の日々の健康状態を観察し主治医との連携を図り、病状の悪化防止に繋げた。感染症予防の取り組みの一として廊下の手すりやドアノブ等の消毒を徹底しインフルエンザ等の予防に努めた。年間の入院者数は8名で殆どの方が短期間で退院できた。</li> <li>○地域の行事や自宅への外出、ショッピングや外食、ドライブなどは夏場の猛暑や台風等の影響で計画どおりに実施できなかつた。年間27名の外出援助を実施した。</li> <li>○毎月1回定期的に苑内研修を実施し、アクシデント報告・身体拘束・虐待防止・認知症ケア・感染症予防等々について事例検討を行った。施設外研修は県老施協を中心とした(27名)。</li> </ul>

<p>①研修等に積極的に参加し自己研鑽に努め、全職員が各々の立場で役割を認識し能力の向上を図る。 ②事故報告やインシデント報告等の活用により事故の状況把握・分析・検証し再発防止能力の向上を図る。 ③職員間のコミュニケーションとチームワークにより明るい職場づくりに努力する。</p> <p>能力開発目標</p>	<p>○人権、緊急時の対応、身体拘束、虐待、認知症、介護技術など研修を実施した。また、各ケア検討チームを中心的に定期的に話し合いを行いサービスの質の向上に繋げた。 ○インシデント報告書を積極的に記入できるよう、職員会議や日々のミーティングを利用して「気づき」について意識を高めるよう努力した。 ○全職員を対象に高齢者虐待、人権・同和問題について研修した。職業としての介護・説明できる介護・介護職員の専門性や人権・差別などについて学んだ。</p>
<p>①保育園、中学校との交流や実習生・ボランティアなどの受け入れを積極的に地域との関係を密にする。 ②地域の行事等に積極的に参加し地域住民との交流を図る。</p> <p>地域目標</p>	<p>○毎月1回定期的にひろせ保育園の訪問があり、園児とふれ合うことができた。また、婦人会による抹茶ボランティアを月1回定期的に受け入れた。大正琴や民謡などボランティアの受け入れを行い交流の輪が広がった。研修医(6名)や福祉専門学校の実習(6名)、職業訓練センターの実習(3名)など受け入れができた。 ○お雛祭りや恵比須祭りなど町内の行事に出かけ地域の方と交流できた。祇園祭神輿の巡幸がありお参りできた。9月に尼子苑敬老会を開催した。地元のパンビーキッズによるダンスや地元有志によるよさこい踊り、大正琴などの演芸が披露され、また地域の方々の出店などもあり入居者、家族や地域の人など約200人くらいで賑わった。</p>
<p>①長期入所については定員82名。稼働率98%を目標とする。 ②短期入所については定員8名。稼働率90%以上を目指す。</p> <p>業務目標</p>	<p>○長期入所については、年間延べ29, 663人、稼働率98.84%の実績だった。前年度に比べ稼働率1.63%上昇した。 ○短期入所については、年間延べ2, 408人、1日平均約6.7人、稼働率 82.20%の実績だった。前年度に比べ稼働率2.3%下降した。主な原因は、冬期間における施設入所利用や体調不良による入院など急なキャンセルによるものであった。</p>

# 令和元年度 事業 報 告

事業所名 尼子苑

## 1. 年間行事

4月	チューリップ見物 炙びす祭り はしまチャレンジ：だし巻き玉子
5月	鯉のぼり見物 芝桜見物 虹のキャラバンコンサート はしまチャレンジ：ごま煎餅
6月	笹巻き 菖蒲湯 ラーメン屋台 防災訓練 はしまチャレンジ：玉子焼き
7月	祇園祭神輿巡幸 はしまチャレンジ：ジャガイモの煮っころがし
8月	七夕 吉野家牛丼 はしまチャレンジ：焼きそば
9月	尼子苑敬老会 はしまチャレンジ：ポテトサラダ
10月	運動会 喫茶店外出 はしまチャレンジ：ヨーグルト入りフレンチトースト
11月	秋の味覚を味わう会 紅葉狩り はしまチャレンジ：バナナヨーグルトケーキ
12月	ゆず湯 忘年会 餅つき
1月	とんさん 餅つき ぶり解体ショー はしまチャレンジ：お好み焼き
2月	節分 そば打ち はしまチャレンジ：甘酒
3月	そば打ち はしまチャレンジ：コーヒー蒸しパン・揚げパン

※その他、バイキングやセレクト食、保育園交流、抹茶VOは毎月1回定期的に実施した。また、買い物、ドライブ、外食、ふるさと訪問など個別援助計画に沿って実施した。

## 2. 研修

施設内研修	外部研修
・身体拘束廃止 虐待防止について	・看取り研修
・事故防止について 事例検討	・認定調査員研修
・感染症予防について 食中毒予防 ノロウィルスなど 尿路感染症 ESBL対策 風邪とインフルエンザ予防対策 皮膚疾患	・権利擁護推進セミナー ・認知症ケア研修会 ・介護技術研修会 ・医療ケア研修会 ・嚥下調整食に関する研修
・高齢者虐待 人権同和問題について	・老施協県大会
・救急救命について	・フットケアに関する研修会
・医行為に関わる喀痰吸引研修	・防災研修会
・排泄ケアに関する研修 排泄のメカニズム オムツの基礎知識	・福祉サービス苦情解決研修会 ・高齢者虐待に関する研修会
・復命研修 ① 老施協県大会研修 介護の未来を切り開く取り組み 気持ち良く暮らせる地域の大切 事例検討	
② 老施協特養部会研修会 施設ケアマネと相談員の役割	
③ 嚥下調整食に関する研修 嚥下調整食を学会分類 嚥下調整食必要の有無	
④ 認知症ケア研修 認知症ケアの基本的視点 生活支援の視点に立つケア	
⑤ 医療的ケア研修 高齢者の爪のケアと予防	
⑥ 排泄ケアに関する研修 メカニズム おむつ外し	

## 3. 入退所状況

入所者数	19名			
(参考) 入所前の状況	自宅 2名	施設 9名	病院 8名	その他 0名
退所者数	20名			

4. 入所者数 (R2.3.31現在 要介護度別)

介護度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
人数	2名	4名	24名	33名	19名	82名

5. 短期入所利用者状況

	延べ人数	稼働率
4月	193	80.42
5月	238	95.97
6月	216	90
7月	239	96.37
8月	227	91.53
9月	211	87.92
10月	222	89.52
11月	184	76.67
12月	167	67.34
1月	144	58.06
2月	166	71.55
3月	201	81.05
合計	2,408	82.2

# 令和元年度 事業報告書

事業所名 太陽デイサービス

目標	事業計画	実施状況
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅生活が継続・維持出来るよう、日常(在宅)生活に視点をおいたサービス提供をする。</li> <li>・音楽療法を取り入れ、脳の活性化や健康増進に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅生活が困らないよう、出来る事は出来るだけしていただき、在宅生活の継続・維持が出来るよう努めた。</li> <li>・毎日、歌の時間を設け、脳の活性化や健康増進に努めた。</li> </ul>
サービス目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の残存機能を見極め、過剰なサービス提供をしないよう心掛ける。</li> <li>・在宅生活に添った生活リハビリを導入し、生活機能の維持に努める。</li> <li>・好きな歌を歌ったり、楽器を弾く等で脳の活性化が出来る音楽を取り入れたレクリエーションの提供をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来る能力を見極め、声掛けや見守り等を行い、出来る事はしていただいた。</li> <li>・生活リハビリ(日常生活動作等)で機能維持に努めた。</li> <li>・毎日の歌の時間、月1回歌レクの日を設けた。利用者の方から好きな歌をレクエストしていただき、皆で歌つた。手作りの楽器を歌に合わせ鳴らした。</li> </ul>
能力開発目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に参加し職員の専門性を高めスキルアップに努める。</li> <li>・施設内研修により、職員のレベルアップを図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修に参加し、専門性を高めた。</li> <li>・内部研修を実施し、レベルアップを図った。</li> </ul>
地域目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの受け入れを行い、地域との関係性を深める。</li> <li>・「デイサービス祭り」を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しく山陰湯梨浜の超一流老人ホーム歌手の方が歌のボランティアに来られた。機器を使用した音楽レクを第一興商の方が披露された。</li> <li>・「デイサービス祭り」を実施した。来場者80名。</li> </ul>
業務目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日平均22名の利用 稼働率78~80%を目指す。</li> <li>・ケアマネージャーと情報交換を行い、利用者のニーズに合わせたサービス提供と臨機応変な対応を行う。</li> <li>・新規利用者の受け入れを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日の平均利用者は18名、稼働率は68%で、目標には達しなかった。(在宅生活困難にて施設入所等をされ、利用終了となる利用者が多かった。)</li> <li>・ケアマネージャーと情報交換を行った。ニーズに合わせたサービス提供に努めた。</li> <li>・新規利用者の受け入れ21名(平成30年度24名)。</li> </ul>

<資料1>

各種行事・外出支援について

4月	町内・布部雛めぐり、桜・チューリップ花見外出	10月	安来市文化祭、布部祭り外出、運動会
5月	東比田芝桜花見、荒島王陵の丘鯉のぼり見外出	11月	三島静夫陶芸展・紅葉狩り外出、人権擁護員さんと壁掛け作り
6月	あじさい花見、笹巻き	12月	クリスマス会
7月	七夕飾り 祇園祭神輿巡幸	1月	新年会、白鳥見学外出
8月		2月	節分豆まき
9月	デイサービス祭り 敬老会	3月	干し大根作り

<資料2>

研修参加状況

	介護職員	看護職員	生活相談員	管理者	合計
常勤職員	1	0	1	1	3
非常勤職員	1	0			1

\* 主な研修内容

外部研修：認知症の方への対応について 災害対策研修 感染対策研修 高齢者虐待防止研修会 内部研修：利用者嘔吐の際の処理方法と手順について 食中毒予防研修 救急救命講習 嘔吐物処理勉強会

<資料3>

利用実績表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R元平均	H30平均
R元延人数	502	529	536	575	537	490	534	461	439	386	393	406	482	485
平均利用者数	19.3	19.6	21.4	21.3	19.9	19.6	19.8	17.7	17.6	16.1	15.7	15.6	18.7	18.9
稼働率	71.51	72.57	79.41	78.88	73.66	72.59	73.25	65.67	64.74	59.57	58.22	57.83	68.99	69.83

# 令和元年度 事業報告書

事業所名 比田デイサービスセンター

目 標	事 業 計 画	実 施 状 況
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一人ひとりと向き合い、楽しみをもつて在宅生活でき、維持できるよう支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者個々の状況に合わせて利用回数の調整、介護内容を検討し在宅生活がより良い状態で継続出来るように支援してきた。</li> </ul>
サービス目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集うことが楽しみであり、いきがいの場所としなり、自信へと繋がるような支援の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出掛けける事で生活リズムが出来、日々の充実を図れた。他者との交流にて馴染みの関係を大切にすると共に歌や創作、体操等を活動的に提供し身体や脳の活性化に繋げれるように努めた。</li> <li>・比田小学校、認定こども園へ雑巾を寄贈する事で、出来る事への意欲向上につなげた。</li> </ul>
能力開発目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研修に参加し、マネリ化を予防し、レベルアップに繋げる。</li> <li>○プロ意識を持ち、知識習得し専門性を高める事で職員の資質向上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に参加し、復命研修をする事で全職員が内容を共有し知識習得を行った。</li> <li>・現状を把握すると共に、改善すべき点(課題)の見直しを行い全職員での取り組みに努めた。</li> </ul>
地域目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運営会議を設置し、年2回開催する。</li> <li>○地元ボランティアの受け入れを積極的にを行う。</li> <li>○「比田デイサービス交流会」を通してより多くの地域の方々と交流の輪を広げる。また、保育所・小学校との交流も継続していく。</li> <li>○地域行事への参加(東西比田踊り参加、文化祭参加)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議を令和元年8月18日(火)令和2年2月18日(火)2回実施した。</li> <li>・虹の会により定期で訪問してもらい、交流会を図れた。抹茶等も提供された。</li> <li>・駐車場にテントを設置したこととで、開放的であり多くの地域の方々と交流が図れ、楽しい時間となつた。来場者100名</li> <li>・比田踊りへの参加は東西比田は合風の為中止。東比田には参加出来た。</li> </ul>
業務目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○少子高齢化が顕著に進むなか、要介護・要支援・要支障者を在宅で支えていく事、また、身近な寄り合いの場所として1日14名の利用実績を目指す。</li> <li>○ケアマネージャーとの連携を密にし、柔軟な対応で新規利用に繋げていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域全体において独居世帯や高齢者は多いが、認定を受けられる方は少なく新規利用者においても、要支援(1・2)要介護(1)利用者が多い状態であった。</li> <li>1日平均利用者 13.9人</li> <li>・新規利用増客、利用回数を個々の状況に合わせ対応出来る様に努めた。</li> </ul>

## 資料①

## 研修報告

	介護職員	看護職員	生活相談	管理者	合計
常勤職員	2	2	1	5	5
非常勤職員	3	0		3	3

☆ 主な研修内容 認知症ケア研修・人権研修・感染予防・高齢者虐待対策研修等。

☆ 内部研修 復命研修・救命講習・食中毒予防研修

## 資料②

## 外出支援・地域交流

月	内容	月	内容
4月	お花見・雛祭り外出・芝桜見学	10月	庭園散策(井上邸)・西谷祭り
5月	芝桜見学・望が丘公園・比田小学校運動会	11月	尾原ダム・紅葉見学・文化祭展示
6月	庭園散策(藤原邸)	12月	クリスマス会
7月		1月	とんどさん
8月	東比田盆踊り大会参加(西比田は台風のため中止)	2月	節分豆まき
9月	交流会・敬老会	3月	

## 資料③

## 利用実績表

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	令和元年 度平均	平成30年度 平均
R元年延人 数	323	328	327	387	373	368	403	379	355	338	340	385	359	327
平均利用者数	12.4	12.1	13.1	14.3	13.8	14.7	14.9	14.6	14.2	14.1	13.6	14.8	13.9	12.7
稼働率	69.0%	67.5%	72.7%	79.6%	76.8%	81.8%	82.9%	81.0%	78.9%	78.2%	75.6%	82.3%	77.2%	70.4%

## 令和元年度 事業報告書

事業所名 広瀬ディサービス

目標	事業計画	実施状況
重点目標 サービス目標	住み慣れた地域で自立した日常生活が継続できる	日常生活機能訓練、口腔機能向上運動を通して介護予防意識を高め、利用者が住み慣れた場所で自立した生活が続けられるよう支援した。
能力開発目標	口腔機能向上運動の実施 クラブ活動等の活動を通し、生活意欲向上に努める。	総合事業対象者を中心に月2回以上の口腔機能運動を実施し、口腔機能を評価・考察し、予防意識を高めた。
地域目標 業務目標	社会参加の場を作る 外部研修 内部研修 資格取得 地域・家族交流	生活意欲の向上を図る為に全利用者に「興味関心」調査を行い、その結果に基づいて月1回のクラブ活動を実施した。 プランター寄贈や雑巾寄贈を通し、社会の中で自身の存在意義を再認識し、生活意欲が持てるよう支援した。 常勤職員、非常勤職員ともに外部研修に参加し、専門職としてのスキルを高めた。 * 別紙資料1参照 復命研修を中心に行い、全職員の質の向上に努めた。 なし ひろせ保育園へのプランターの寄贈(春夏秋冬花の植替え実施)、広瀬・布部・山佐小学校、広瀬中学校へ手作り雑巾の寄贈 地域住民ボランティア等による月1回以上のクラブ活動の実施 広瀬ディサービス祭り 来場者 約180名 * 別紙資料2参照 ○1日平均利用者数23.1名(前年度22.6名) ○平均稼働率85.3%(前年度83.6%) ○平均キヤンセル率8.8%(前年度7.4%)…内訳:総合事業対象者 9.7% 通所介護対象者 8.6% 1月～3月に複数の入院、コロナ感染予防のための利用自粛等により稼働率が著しく低下した。 * 利用実績については別紙資料3参照 1日平均24名 稼働率85%以上 キヤンセル率月6%以下

<資料1>  
研修参加状況

	介護職員	看護職員	歯科衛生士	生活相談員	管理者	合計
常勤職員	1	2		1	2	6
非常勤職員	2	0	0			2

\* 主な研修内容

災害支援対応研修、権利擁護セミナー、認知症研修、デイ部会(個別機能訓練トリハビリ)  
救急講習会、高齢者自立支援、介護予防推進研修、結核研修、医療ケア研修、虐待防止研修

<資料2>  
地域交流、外出支援等について

4月	桜・雛めぐり、チューリップ見物、鯉のぼり見物	10月	山佐小学校交流会・雑巾寄贈、運動会、歌のコンサート
5月	鯉のぼり見物、つつじ見物、ひろせ保育園交流会・プランター寄贈	11月	広瀬中・広瀬小・布部小学校交流会・雑巾寄贈、ひろせ保育園交流会、紅葉狩り、ぬり絵コンクール
6月	紫陽花見物、ふれあい書道展出品	12月	お楽しみ会、絵手紙教室(年賀状作り)、しめ縄作り
7月	絵手紙教室	1月	とんどさん、初詣、ふれあい書道展出品
8月	夏休み介護の職場体験(高校生)、島大生実習	2月	白鳥見物
9月	お楽しみ会、広瀬中学校職場体験学習、ティサークル祭り	3月	桜花見

\* 川柳投稿:月刊ディ(月1回)、山陰中央新報(年4回)、広瀬交流センター(年2回)、法燈(115号)掲載

<資料3>  
利用実績表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R元年度平均
R元年度延人数	575	620	565	663	648	608	653	605	578	532	535	567	595.7
平均利用者数	22.1	23.0	22.6	24.6	24.0	24.3	24.2	23.3	23.1	22.2	21.4	21.8	23.1
稼働率	81.9%	85.1%	83.7%	91.0%	88.9%	90.1%	89.6%	86.2%	85.6%	82.1%	79.3%	80.8%	85.3%

## 令和元年度 訪問介護事業報告(太陽ヘルパーステーション)

項目	実施計画	実施状況	
重点目標	柔軟な受容と観察	・常時新規受け入れに努め、後期一時的な利用者増がある。 多様なニーズを援助する様訪問回数・サービス内容行うが 入院・施設入所の為利用者減の状況が続いた。	
	信頼関係の確立	・ケアマネ情報を参考に同一ヘルパーの訪問等、利用者に 合わせた関係作りをし訪問継続に繋げる事が出来ている。	
サービス目標	利用者・家族の 思いの尊重 満足感の得られる サービス提供	・利用者側の意向や指摘を生かす為、ヘルパーアクセスで サービス提供状況を確認・見直しし、ケアマネへ情報提供・ サービス内容検討・提案を行った。訪問介護のみでなく通 所等他のサービスも併用利用の提案をし、利用者の活動 域を拡げ、家族介護負担の軽減にも努めた。	
能力開発目標	ヘルパー連絡会 外部研修 外部研修 内部研修	・毎週月曜12:30～定期に実施 ・県老施協研修(事例発表)大会 ・高齢者虐待防止研修 ・介護食について ・緊急・急変時の対応 ・看取りについて ・救命講習(安来消防救急救命士講師) ・人権研修 ・復命研修	全員 2名 1名 1名 1名 2名 全員 全員 全員
地域目標	民生委員と連携 地域状況把握	・訪問以外時の安全な在宅生活継続の為、民生委員や近 隣者と情報交換や、駐在所へ見守りの協力依頼をケアマ ネを通じて行った。同時に地域との連携や支援力の把握が 出来、サービス内容の反映に繋がった。	
業務目標	利用者目標件数 月45件 包括・居宅支援事業 所との連携	・要介護者月平均31件(前年40件)目標不達成。 ・延べ人数664人減。要支援者は41人増となる。 ・居宅支援事業所へ当事業所の空き情報提供、緊急訪問 依頼にも早いサービス提供に努力した結果、一時的な 利用者増はあるが、その利用者数維持は難しい状況である。 ・中山間地での人口減や施設系利用傾向の上、家族・地域 協力や他のサービス支援が伴わず、在宅生活継続が困難 になる場合多く、要介護利用者減の要因と考えられる。	

令和元年度 障がい者自立支援事業報告(太陽ヘルパーステーション)

項目	実施計画	実施状況
重点目標	機能・能力維持と意欲向上の支援 信頼関係の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声掛けやニーズに対し、サービス提供時に共に行動を促した結果、1名だが利用者自身が行える様になり就労継続も出来た為、利用者の生活の質向上の支援と共に訪問終了へ繋げる事が出来た。</li> <li>・会話の時間や傾聴に努め、利用者・家族との関係作りと、信頼関係保持が出来ている。</li> </ul>
サービス目標	利用者尊重と接遇 満足感のあるサービス提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人職員としての自覚と誠意を持ち、笑顔での訪問に努め、「訪問を待っている。」との言葉を頂いた。</li> <li>・家族へはモニタリングでの意向をサービスに反映と、利用者や今後の生活に対する思いを傾聴・共感・負担軽減等、生活に生かせる助言を行った。</li> </ul>
能力開発目標	ヘルパー連絡会 外部研修  内部研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週月曜12:30～定期に実施。 10名</li> <li>・市障がいサービス連絡会事例検討 1名</li> <li>・サービス管理責任者過程基礎研修 1名</li> <li>・サービス提供責任者過程研修 1名</li> <li>・共生社会フォーラム研修 1名</li> <li>・人権研修 全員</li> <li>・復命研修 全員</li> </ul>
地域目標	地域・関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者・サービスの状況共有や支援・問題早期解決の為、相談支援事業所や福祉課との連携に努めた事で相談や共に検討が出来、支援内容の改善にも生かす事が出来た。</li> </ul>
業務目標	利用者目標件数 月5件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月平均7名(前年5名)と目標件数を上回る。 自身の障がいや家族状況も含め、困難事例な利用者も、相談支援専門員や市関係課、関係事業所と共に意識を持ち連携して受け入れをし、同一ヘルパー訪問で訪問継続に向けての努力をした。</li> </ul>

## 令和元年度 太陽ヘルパーステーション利用実績表

### ☆訪問介護(介護保険)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実人数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
延人数	374	354	352	402	369	348	382	354	334	314	309	344	4,236
内訳	身体介護	97	92	91	106	84	67	86	73	74	63	69	91
	身体・生活	51	53	63	61	73	78	74	68	70	69	63	789
	生活援助	85	84	83	96	92	83	85	72	64	55	53	911
	訪問型独自	141	125	115	139	120	120	137	141	126	127	124	1,543

### ☆訪問介護(障がい自立支援)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実人数	7	7	7	7	7	7	7	9	8	7	8	8	89
延人数	59	59	55	59	54	52	56	67	71	63	67	66	728

## 令和元年度 事業報告書

### 在宅介護センターひろせ

				実施状況		社会福祉法人 太陽とみどりの里	
目標	標準	事業計画	実績	状況	実施状況	担当者	担当者
重点目標	①地域交流の場に積極的に出向いていく。 ②組織としてチーム力を生かし、事業所のレベルアップを図る。	①個別地域ケア会議に参加し、自立支援・重度化防止に向けたケアマネジメントの実践力の向上に努めた。 ②また主任介護支援専門員として、多職種との連携・協働の推進や地域の人材育成に努めた。 ③地域ケア会議に参加し、課題の発掘や地域資源の集約、地域ニーズの把握に努めた。 ④医療機関の連携室と連携し、退院に向けての支援を行った。安来市在宅医療支援センターが開催する勉強会に参加し情報交換、連携強化に努めた。	◎個別地域ケア会議に参加し、自立支援・重度化防止に向けたケアマネジメントの実践力の向上に努めた。 ◎また主任介護支援専門員として、多職種との連携・協働の推進や地域の人材育成に努めた。 ◎地域ケア会議に参加し、課題の発掘や地域資源の集約、地域ニーズの把握に努めた。 ◎医療機関の連携室と連携し、退院に向けての支援を行った。安来市在宅医療支援センターが開催する勉強会に参加し情報交換、連携強化に努めた。	◎個別地域ケア会議に参加し、自立支援・重度化防止に向けたケアマネジメントの実践力の向上に努めた。 ◎また主任介護支援専門員として、多職種との連携・協働の推進や地域の人材育成に努めた。 ◎地域ケア会議に参加し、課題の発掘や地域資源の集約、地域ニーズの把握に努めた。 ◎医療機関の連携室と連携し、退院に向けての支援を行った。安来市在宅医療支援センターが開催する勉強会に参加し情報交換、連携強化に努めた。	◎個別地域ケア会議に参加し、自立支援・重度化防止に向けたケアマネジメントの実践力の向上に努めた。 ◎また主任介護支援専門員として、多職種との連携・協働の推進や地域の人材育成に努めた。 ◎地域ケア会議に参加し、課題の発掘や地域資源の集約、地域ニーズの把握に努めた。 ◎医療機関の連携室と連携し、退院に向けての支援を行った。安来市在宅医療支援センターが開催する勉強会に参加し情報交換、連携強化に努めた。	◎個別地域ケア会議に参加し、自立支援・重度化防止に向けたケアマネジメントの実践力の向上に努めた。 ◎また主任介護支援専門員として、多職種との連携・協働の推進や地域の人材育成に努めた。 ◎地域ケア会議に参加し、課題の発掘や地域資源の集約、地域ニーズの把握に努めた。 ◎医療機関の連携室と連携し、退院に向けての支援を行った。安来市在宅医療支援センターが開催する勉強会に参加し情報交換、連携強化に努めた。	◎個別地域ケア会議に参加し、自立支援・重度化防止に向けたケアマネジメントの実践力の向上に努めた。 ◎また主任介護支援専門員として、多職種との連携・協働の推進や地域の人材育成に努めた。 ◎地域ケア会議に参加し、課題の発掘や地域資源の集約、地域ニーズの把握に努めた。 ◎医療機関の連携室と連携し、退院に向けての支援を行った。安来市在宅医療支援センターが開催する勉強会に参加し情報交換、連携強化に努めた。
サービス目標	①居宅介護支援事業 ②総合相談支援業務(安来市地域包括支援センター委託事業) ③地域支援事業、家族介護者教室受託事業等	①プラン作成件数(居宅介護支援) … 年間1,850件(月平均154件) 前年対比 95.8% ②介護予防プラン作成件数 … 年間 429件(月平均35.7件) 前年対比 90.6% ③介護支援専門員実務研修受入 … 1名の研修を受け入れた。 * 特定事業所加算Ⅱ(400単位)の算定 * 初回加算60件、入院時情報連携加算61件、退院退所加算24件。	◎総合相談支援事業…延べ85件の相談があつた。 * 介護サービス利用に関することがが多く、続いている退院支援、住環境整備に関する事が多い。 ◎携帯電話による24時間体制をとり、地域包括支援センターとの連携を図つた。 ◎地域ケア会議の開催…9/11広中校区会議～「すまい」と「すまい方に」についての課題を解決するためには～（参加者34名） ◎専門的・継続的な相談支援…ミニサロン1会場に出向いた。(大谷紙屋谷地区、参加者15名) ◎介護者教室…「健康づくり・リフレッシュ体操」をテーマに広瀬町内2会場(3/10広瀬、3/24東比田)で予定していたが、新型コロナウイルスによる感染拡大防止対策のため、開催を中止した。	◎総合相談支援事業…延べ85件の相談があつた。 * 介護サービス利用に関することが多く、続いている退院支援、住環境整備に関する事が多い。 ◎携帯電話による24時間体制をとり、地域包括支援センターとの連携を図つた。 ◎地域ケア会議の開催…9/11広中校区会議～「すまい」と「すまい方に」についての課題を解決するためには～（参加者34名） ◎専門的・継続的な相談支援…ミニサロン1会場に出向いた。(大谷紙屋谷地区、参加者15名) ◎介護者教室…「健康づくり・リフレッシュ体操」をテーマに広瀬町内2会場(3/10広瀬、3/24東比田)で予定していたが、新型コロナウイルスによる感染拡大防止対策のため、開催を中止した。	◎総合相談支援事業…延べ85件の相談があつた。 * 介護サービス利用に関することが多く、続いている退院支援、住環境整備に関する事が多い。 ◎携帯電話による24時間体制をとり、地域包括支援センターとの連携を図つた。 ◎地域ケア会議の開催…9/11広中校区会議～「すまい」と「すまい方に」についての課題を解決するためには～（参加者34名） ◎専門的・継続的な相談支援…ミニサロン1会場に出向いた。(大谷紙屋谷地区、参加者15名) ◎介護者教室…「健康づくり・リフレッシュ体操」をテーマに広瀬町内2会場(3/10広瀬、3/24東比田)で予定していたが、新型コロナウイルスによる感染拡大防止対策のため、開催を中止した。	◎権利擁護推薦セミナー ◎在宅医療介護連携意見交換会 ◎地域ケア会議 ◎中堅職員スキルアップ研修 ◎県介護支援専門員研究大会 ◎看取り勉強会 ◎個別ケース会議	◎権利擁護推薦セミナー ◎在宅医療介護連携意見交換会 ◎地域ケア会議 ◎中堅職員スキルアップ研修 ◎県介護支援専門員研究大会 ◎看取り勉強会 ◎個別ケース会議
能力開発目標	①ケアマネジメント実践力の向上 ②コミュニケーション能力の向上 ③組織・チーム力の向上	①新人ケアマネ研修 ②主任ケアマネ更新研修 ③高齢者虐待防止研修会 ④認定調査員現任研修 ⑤在宅医療意見交換会(歯科医師) ⑥主任ケアマネの集い	<主な研修内容> ◎個別地域ケア会議(自立支援型) ◎認定調査研修 ◎新人ケアマネ研修 ◎主任ケアマネ更新研修 ◎高齢者虐待防止研修会 ◎認定調査員現任研修 ◎在宅医療意見交換会(歯科医師) ◎主任ケアマネの集い	<主な研修内容> ◎個別地域ケア会議(自立支援型) ◎認定調査研修 ◎新人ケアマネ研修 ◎主任ケアマネ更新研修 ◎高齢者虐待防止研修会 ◎認定調査員現任研修 ◎在宅医療意見交換会(歯科医師) ◎主任ケアマネの集い	<主な研修内容> ◎個別地域ケア会議(自立支援型) ◎認定調査研修 ◎新人ケアマネ研修 ◎主任ケアマネ更新研修 ◎高齢者虐待防止研修会 ◎認定調査員現任研修 ◎在宅医療意見交換会(歯科医師) ◎主任ケアマネの集い	◎地域から信頼され親しみの持てる窓づくり ◎地域課題把握、地域づくり・資源開発の提言 ◎相談支援	◎地域から信頼され親しみの持てる窓づくり ◎地域課題把握、地域づくり・資源開発の提言 ◎介護者教室は、新型コロナウイルスによる感染拡大防止対策のため、開催を中止。 ◎安来市社会福祉法人連絡会の「ふくし何でも相談会」で相談支援を行つた。
地域目標	①親しみやすさと信頼が得られる場づくり ②地域課題把握、地域づくり・資源開発の提言 ③相談支援	①介護給付 月170件 <居宅支援費 1:125件 II:45件> ②予防給付 月38件 ③特定事業所加算の算定	①介護給付は月平均154件 居宅支援費 I:110件 II:43件 ②予防給付は月平均35件であった。 ③○要介護認定調査… 年間114件の調査	①介護給付は月平均154件 居宅支援費 I:110件 II:43件 ②予防給付は月平均35件であった。 ③○要介護認定調査… 年間114件の調査	①介護給付は月平均154件 居宅支援費 I:110件 II:43件 ②予防給付は月平均35件であった。 ③○要介護認定調査… 年間114件の調査		

## 令和元年度 総合相談支援業務実績報告書 (R.1年度集計分)

様式 E

事業所名 在宅介護支援センターひろせ

## I. 相談方法(延べ数)

		延べ数
1	電話	48
2	来所	10
3	訪問	27
計		85

## II. 相談人数

		計
1	実人数	69
	内、介護認定を受けていない人	27
2	延べ人数	85
	内、介護認定を受けていない人	35

## III. 相談経路別区分(新規)

経路	実人数
本人	2
家族・親族	31
ケアマネジャー	0
行政機関	0
医療機関	16
民生児童委員	0
包括支援センター	20
近隣住民・知人	0
警察	0
介護事業所	0
その他関係機関	0
計	69

## IV. 相談種別／件数(※重複あり)

## (1) 介護保険その他の保健福祉サービスに関すること

		延べ数		延べ数
1	認知症に関する事(疑い含む)	12	9	障がい・難病に関する事
2	高齢者虐待に関する事(疑い含む)	0	10	施設入所に関する事
2の内訳	a) 身体的虐待	0	11	ケアマネ支援に関する事
	b) 性的虐待	0	12	成年後見制度に関する事
	c) 心理的虐待	0	13	権利侵害に関する事
	d) ネグレクト	0	14	家族不和に関する事
	e) 金銭的虐待	0	15	地域とのトラブルに関する事
3	生活困窮に関する事	0	16	8050・ダブルケアに関する事
4	状況(実態)把握に関する事	0	17	依存症に関する事(疑い含む)
5	入院・退院支援に関する事	22	18	介護疲れに関する事
6	ゴミ屋敷支援に関する事	0	19	社会的孤立に関する事
7	介保申請・サービスに関する事	78	20	困難事例に関する事
8	福祉用具・住宅改修に関する事	29	21	苦情に関する事
8の内訳	a) 自宅に訪問した件数	12	22	その他(上記以外のもの)
	b) 住宅改修件数	2	計	144

## V. 年齢別件数

		実人数
1	～64歳まで	2
2	65～74歳まで	5
3	75～84歳まで	25
4	85歳～	37

## VII. 訪問による実態(状況)把握件数

		実人数
1	ひとり暮らし世帯	1
2	高齢者世帯	5
計		6

## VI. 校区別件数

	実人数
一中校区	1
二中校区	2
三中校区	5
広瀬中校区	61
伯太中校区	0

## VIII. 時間外対応(土・日・祭日含む)

延べ件数(月合計)	1件
延べ時間(月合計)	0.25H

## 令和元年度 事業報告書

### グループホームなごみ

目標	事業計画	実施状況
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居者の役割を大切にした支援を考える。</li> <li>入居者の能力に応じ自立した生活を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症の進行の違いにより、個人で出来ることに差が出来るために、その方にあった、「介助」や「介助」等を見極めながら支援を行った。</li> <li>重度化に伴い介護量が増え、認知症の方に寄り添うことができにくい状況になつていているのが日常化している。外出や散歩など行動することが減つたような気がしている。</li> </ul>
サービス目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居者の身体状況に合わせたサービスの提供をする。</li> <li>個々の思いやアセスメントを的確に行い支援につなげる。</li> <li>外出援助や季節の行事などに参加し、活気と笑顔のある生活を支援する。</li> <li>介護者主觀による介護者の満足のための支援ではなく、本人主体の支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人の希望や家族との情報交換を行いながら、自分らしい生活が出来るよう支援した。</li> <li>自宅への訪問、買い物、外食など個人の能力に応じた外出をできるだけ行うようにした。</li> <li>個人のケアポイント、毎月のモニタリングをカンファレンスにて状況をスタッフ全員で把握し共有化し支援につなげた。</li> <li>重度化に伴い、その人にあつた介護を提供するように心がけた。</li> </ul>
能力開発目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の資質向上・資格取得を目指す。</li> <li>研修を通して専門性の向上に努める。</li> <li>目標を理解し、どう行動すべきなのかを理解しながら、チームとして貢献できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症ケアの研修を受けたことのない職員も増え、理解を深めるために認知症ケアの研修に參加した。</li> <li>内部研修にて高齢者虐待・人権などの復命研修を行い、コンプライアンスの大切さを勉強した。</li> <li>外部研修は人員不足もあり、なかなか参加できなかつた。</li> <li>町内の行事にも参加したが、限られた人のみとなつてきている。</li> <li>抹茶ボラさんの月1回の来所。民生委員さんとの交流は年1回行つた。</li> <li>自治会の夏祭りへの参加し、「なごみ縄集子屋」を日頃の感謝をこめて行つた。</li> <li>年2回の家族会を開催し、意見交換を行つた。</li> <li>事業所内行事や外出については別紙</li> </ul>
地域目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>①季節ごとの外出</li> <li>②ボランティアの受け入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度より事故報告は少なくなつたが、アクシデントレポートの提出と検討会を行つた。</li> <li>高齢化に伴い、重度になられる傾向があるため介護量は増え傾向にある。</li> <li>特養申請をしているが、尼子苑への入所が思うようにならず認知症対応のグループホームとしての生活より、特養化している状況である。</li> <li>法人内ネットワークにて尼子苑への優先的な入所はできないか検討が必要。</li> <li>看取りの希望があり、開業医往診を依頼し対応中である。(R2・1より)</li> <li>認知症カフェ「なごみカフェ」を5月から継続した。(別紙)</li> </ul>
業務目標		

・利用者の外出一覧・地域との交流行事

月	内 容
4月	花見(桜)・チューリップ見学・タケノコ堀
5月	八雲こいのぼり
6月	イチゴ狩り・桜苑まつり
7月	祇園祭・避難訓練・あじさい見学
8月	栄町夏祭り・七夕流し
9月	敬老会(家族会4名)
10月	由志園・境港ラーメンツアー・収穫祭
11月	演芸館・ドライブ
12月	民生委員さんとのクリスマス会
1月	とんどさん
2月	節分(まめまき)
3月	

抹茶ボランティア(月1回)  
 誕生会・食事バイキング・フルーツバイキング  
 スイーツバイキング・ドーナツバイキング

・研修報告

	介護職員	管理者	合計
県外研修	0	0	0
県内研修	10	1	12

\* 主な研修内容

- ・認知症研修
- ・人権研修
- ・リスクマネジメント研修
- ・認知症対策研修会
- ・救急救命法講習
- ・ノロウィルス対応研修
- ・感染症対策研修
- ・身体拘束・虐待について
- ・法令遵守について
- ・新人職員研修会

\* 内部研修

・退所者数・理由

安来市立病院	3名
しらさぎ苑	1名

・入院

4月	圧迫骨折にて入院 看取り入院(翌日死亡)	10月	体調不良にて入院2名 1月
8月	体調不良にて入院2名	2月	体調不良にて入院1名
9月	体調不良にて入院1名	3月	体調不良にて入院1名

・認知症カフェ参加者数

		民生委員	包括他	合計	内容
5月	10	2		12	
6月	15			15	
7月	12	1		13	
8月	13			13	
9月	27	1		28	
10月	14			14	
11月	16			16	
12月	16			16	島根県家族の会1名
1月	12			12	
2月	16			16	
3月					
	151	4	0	155	